前橋市 水道事業・下水道事業

令和元年度決算の概要

目 次

・水油料金、ト水油製用料などの推移 ・・・	•水道料金、	下水道使用料などの推移	• • •
-----------------------	--------	-------------	-------

・水道事業の令和元年度決算の概要・・・・ 2~3

・下水道事業の令和元年度決算の概要・・・・4~5

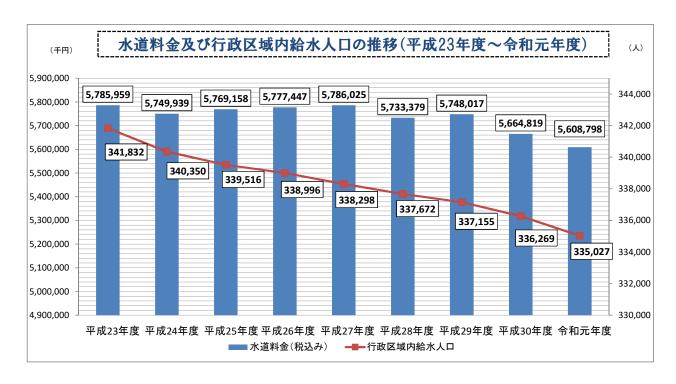
前橋市 水道局 経営企画課

水道料金、下水道使用料や人口などの推移

水道料金(56億880万円)

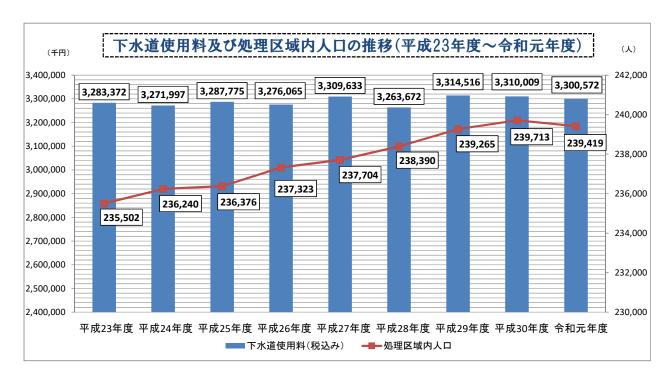
水道事業収入の大半を占める水道料金については、前年度に比べ約5,600万円の減少となり、56億 880万円の収入となりました。

節水機器の普及や水需要の減少、配管や施設の老朽化対策工事などを勘案すると、令和4年度からの料金 改定は避けられない状況です。



下水道使用料(33億 57万円)

下水道使用料については、前年度に比べ約940万円の減少となり、33億57万円の収入となりました。 処理区域内人口は令和元年度に微減となり、水道使用量の減少等により下水道使用料も減少傾向が見込まれています。安定的な経営のためには、さらなる経費節減や計画的な更新に努めるほか、将来の下水道使用料の改定を視野に入れる必要があります。



水道事業会計の主な事業(令和元年度決算)

重要給水施設管路耐震化事業(4,475万円)

地域防災計画等を参考に、災害時に特に重要と考えられる施設(災害拠点病院4箇所、災害対策本部など9箇所)を重要給水施設と位置づけ、災害時でも給水できるように供給ルートの耐震化を図ります。

令和元年度は、ヤマダグリーンドームへ続く管路の耐震化工事を行い、敷島浄水場からヤマダグリーンドームまでの管路の耐震化工事が完了しました。

【重要給水施設】①群馬県庁②前橋市役所③消防局中央消防署④水道局⑤大胡支所⑥宮城支所⑦ 粕川支所⑧富士見支所⑨ヤマダグリーンドーム前橋⑩前橋赤十字病院⑪群馬大学病院⑫済生会病院 ⑬群馬中央病院

県央水道受水費(18億8.961万円)

配水の割合 自己水(地下水) 43.6%(前年度は43.9%)

県央水(表流水) 56.4%(" 56.1%)

県央第一水道 39.9%(単価: 50円/㎡(税抜)) 県央第二水道 16.5%(単価:102円/㎡(税抜))

敷島浄水場配水塔築造工事(R元,2の2か年工事 契約額9億9,000万円)

平成27年度から敷島浄水場基本設計業務に着手し、敷島浄水場全体の更新について検討を進めました。 新配水塔は平成29・30年度の2ヵ年で詳細設計を実施し、令和元・2年度で建設予定です。また、配水塔以 外の場内施設について更新の必要があるため、令和元・2年度で詳細設計を行っています。

今後は、施設更新工事と並行し、現在の水道タンクの保存のあり方などについても検討を進める予定です。



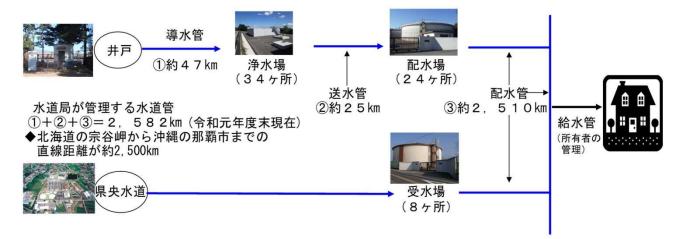
左)昭和4年から稼働している 水道タンク

> 右)新水道タンク(イメージ図) 機能美を重視したデザイン

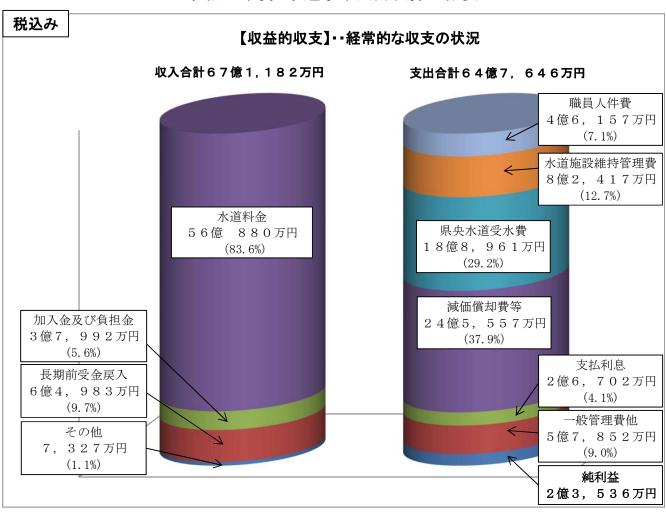


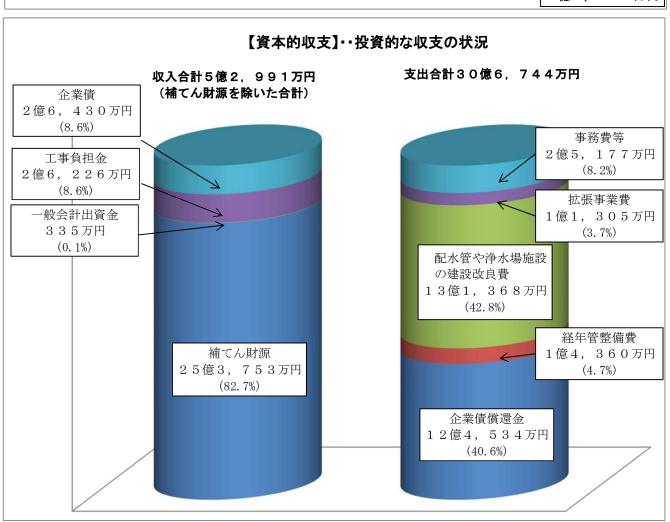
配水管等改良事業(8億5,732万円) 浄水場施設等改良工事(4億452万円)

老朽配水管の布設替工事、都市計画事業や下水道事業など他の事業に関連した配水管の布設替工事、市民の方々からの要望による配水管の新設や水圧増強工事などを実施しました。また、各浄水場の計装設備改修工事などをはじめとした浄水場施設等改良工事を実施しました。



令和元年度 水道事業会計決算の概要





下水道事業会計の主な事業(令和元年度決算)

処理場・ポンプ場施設の維持管理(10億235万円)

水質浄化センター(六供町)は、昭和38年に運転を開始し、現在、処理面積1,171.6ha、処理能力は、84,200㎡/日となっています。

また、赤城山大洞処理場は、大沼周辺の47haが処理面積で、昭和63年に運転を開始し処理能力は、907㎡/日となっています。

なお、中継ポンプ場は市内に10ヶ所設置されており、汚水等を処理場に円滑に流下させるために重要な役割を担っています。

管渠新設事業(10億2,654万円)

流域関連公共下水道事業計画を中心に、8,694.0mの汚水管 渠を整備しました。

この結果、令和元年度末における下水道整備区域は、前年度 に比べ31.7ha増え、6.261.9ha(整備率90.7%)となりました。

管渠新設事業については、令和7年度を目途に下水道未普及地区の整備が概ね終了する予定です。

下水道ストックマネジメント計画事業 (4**億**1,741**万円**)

下水道施設すべてを一体的にとらえ、計画的に点検・調査・ 改築を行うことで、施設全体の機能確保を図ることを目的とした、下水道ストックマネジメント計画に移行するため、計画策 定業務委託を実施しました。また、継続して老朽管の改築・更 新事業を実施しました。

水質浄化センター更新事業基本構想策定 (1,364万円)

水質浄化センター(六供町)は場内の最も古い施設が57年を経過し、更新が必要な時期を迎えたため、更新事業の基本構想を策定しました。現施設を稼働しながら、現地での建て替えとなるため、事業完了まで長期間を要する事業となります。

《今後のスケジュール》

計画策定: 令和2年~令和6年

①第1期工事:令和7年~令和9年

(管理棟建設)

②第2期工事:令和10年~令和12年

(し尿受入施設建設)

③第3期工事:令和13年~令和19年

(水処理施設(新1系)建設)

④第4期工事:令和20年~令和24年

(汚泥処理施設建設)

⑤第5期工事:令和25年~令和31年

(水処理施設(新2系)建設)

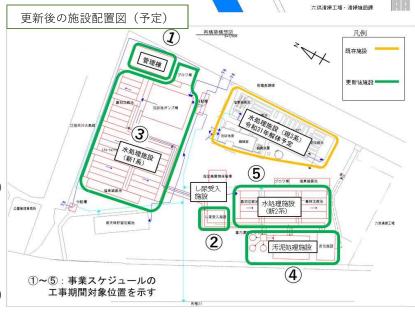
◆下水道処理人口普及率

平成28年度末	平成29年度末	平成30年度末	令和元年度末
70.5%	70.9%	71.2%	71.4%

令和元年度末現在	前橋市	群馬県	全国平均
下水道処理人口普及率	71.4%	54.6%	79.7%
汚水処理人口普及率※	93.4%	81.8%	91.7%

※汚水処理人口普及率:公共下水道、農業集落排水、 合併処理浄化槽、地域し尿を含めた普及率





令和元年度 下水道事業会計決算の概要

